

震災から生命と財産を守る

～東海・東南海・南海地震に備える～

今年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、東北地方を中心に甚大な被害が発生しました。自然災害は、いつ、どこで、どのような形で襲ってくるか分かりません。災害から、生命と財産を守るためには一人一人の日頃からの備えが大切です。災害について認識を深め、災害に関する情報収集

の方法を確認するなど、災害からの被害の軽減に努めましょう。

平成23年度津市総合防災訓練は、11月27日(日)に行います。詳しくは、広報津11月1日号でお知らせします。

9月1日は防災の日 8月30日～9月5日は防災週間

■地震の発生確率と規模(マグニチュード)は

国の想定による今後30年以内の発生確率

	東海地震	東南海地震	南海地震
発生確率	87%	70%程度	60%程度
規模(マグニチュード)	8.0	8.1前後	8.4前後

この3つの地震が同時に発生する可能性もあるとされています。そのときのマグニチュードは8.7と想定されています。

東海地震・東南海地震・南海地震の想定震源域



■津市での被害は

3つの地震が同時発生した場合、最大震度6強、市内全域で震度5弱以上の大きな揺れが発生し、地震による揺れや火災による建物被害は3万棟以上、死者・負傷者数は3,000人近くになると想定されています。

自宅周辺の被害想定を地震防災マップで確認し、対策を考えておきましょう。

HP [津市地震防災マップ](#) |

■津波による被害は

地震発生後、約2時間20分後に最大約3mの津波(満潮時の場合)が到達し、地震の被害により防潮施設などが機能しなかった場合、おおむね国道23号線より東側で浸水被害が予想されます。

津波は、海岸や海底の地形によっては局所的に大きくなる所がありますので、注意が必要です。

■津波からの避難方法は

地震による揺れを感じたら、ラジオやテレビなどで、地震や津波の情報を収集しましょう。津波警報や津波注意報が発表されたら、速やかに高台に避難し、海辺には近づかないようにしましょう。津波は河川をさかのぼるので、河川には絶対近づかないようにしましょう。逃げ遅れた場合などは、丈夫な建物の3階以上に避難しましょう。



■津波避難ビルの指定



市では大規模地震に伴う津波が発生または発生する恐れがある場合において、避難の遅れた地域住民や救助活動に従事する人などが緊急的に一時避難する津波避難ビルの指定を進めています。

詳しくは津市ホームページをご覧ください。

※現時点での地震や津波による被害想定は、東北地方太平洋沖地震発生前のものです。現在、国・県で見直しが進められており、今後、その結果に合わせて市の計画も見直しを予定しています。